

### 3 添付書類について

法第5条第1項及び第6条第2項に基づく届出書への添付書類は、施行規則第4条に規定されています。

以下に、添付書類を作成する際の留意事項及び記載例を示しますが、他に分かりやすい記載方法があれば別の方法で作成しても構いません。ただし、それぞれの事項で説明を求めている内容については、必ず記載して下さい。

#### 1 法人にあってはその登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し

届出者を明らかにするために提出を求めています。法人の場合は代表権者の確認等を行いますので、届出書と相違が生じないようにして下さい。

届出者の登記事項証明書及び住民票（住民票抄本）は、届出書1部に届出日の3ヶ月前までの原本を添付し、残りの部数についてはその写しを添付して下さい。

#### 2 主として販売する物品の種類

「主として販売する物品」は、廃棄物等の保管施設の容量を検討する際に必要となりますので、代表的な取扱い品目について記載して下さい。

（例：「衣料品」、「食料品」、「日用雑貨」、「カー用品」、「家電製品」等）

複数の小売業者がある場合は、小売業者の氏名又は名称及び所在地、代表者の氏名、主として販売する物品の種類、開店時刻、閉店時刻（個々の小売業者で異なる場合）等を一覧できるように記載して下さい。

また、大規模小売店舗に小売店舗以外の施設を併設する場合には、駐車場の収容台数等を検討する際に必要ですので、その施設についても同様に記載して下さい。

（例）

図面 No.	小売業者の氏名又は 名称及び代表者の氏名	小売業者の所在地	主として販売す る物品の種類	開店 時刻	閉店 時刻
1F   ①	(株)〇〇〇〇 代表取締役△△△△	〇〇市〇〇 〇丁目〇番〇号	衣料品	9:30	20:00

※小売店舗以外の施設を併設する場合も上記表と同様に適宜作成して下さい。

#### 3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

建設予定敷地内における建物等の施設の配置状況及び建物内で小売業が行われる場所を以下の事項について図面（建物の配置図、平面図など）に記載し、図面には縮尺及び方角を表示して下さい。

（全部表示できない場合は、適宜図面を分けて下さい。）

##### (1) 建物の位置を示す図面（建物の配置図等を利用して作成して下さい）

ア 建物の位置図《広域見取図》（敷地から概ね半径2～3kmの範囲）

- ・周辺に学校や社会福祉施設等が立地している場合は、その位置

- ・周辺に大規模小売店舗や大規模な集客施設等が立地している場合は、その位置
- イ 建物の配置図《敷地内の配置図》
  - ・敷地内の建物及び附属する施設（駐車場、駐輪場、荷さばき施設（搬出入車両の待機場所等を含む）、廃棄物等の保管施設）の位置
  - ・駐車場の出入口の位置並びに入庫及び出庫の動線
  - ・駐車場の入口に発券ブースを設置する場合、その位置とブースまでに確保される駐車待ちスペースの長さ
  - ・駐車場内に自動車の経路等を設定する場合、その内容と表示位置
  - ・駐車場及び駐輪場の駐車区画の配置状況
  - ・自動二輪車の駐車場所を設定する場合、その駐車区画の配置状況
  - ・交通整理員を配置する場合、その配置場所
  - ・敷地内にタクシー等が客待ちを行うスペースを設置する場合、その位置と停車可能台数
  - ・荷さばき車両専用の出入口を設置する場合、その位置
  - ・敷地面積

ウ 敷地内及び周辺の用途地域指定図(都市計画法上の用途指定がわかる都市計画図)

(2) 小売業を行うための店舗の配置を示す図面（平面図等を利用して作成して下さい）

- ・各階の小売業を行うための店舗に供される部分の配置（店舗ごとに区画が決まっている場合には、添付書類2の「主として販売する物品の種類」の小売業者ごとに同一の符号を付けて記載して下さい。）
- ・荷さばき施設の位置（屋内に設置する場合）
- ・廃棄物等の保管施設の位置（屋内に設置する場合）
- ・小売店舗以外の施設（併設施設）に使用する部分の用途（オフィス、マンション、飲食店、映画館、ボーリング場、ゲームセンター等）
- ・延べ床面積
- ・その他（特記事項があれば記載して下さい）

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠 ※駐車場及び駐輪場の収容台数について記載して下さい。

(1) 駐車場について

《指針の計算式による場合》

計算式に用いる数値及び計算結果を記載して下さい。

(例)店舗面積：11,000㎡、利用者層が同一の併設施設面積：1,500㎡、商業地区、店舗所在地の属する市町村の人口30万人(前年度末日の住民基本台帳の人口)、駅（バスターミナル等）から300m（地図上の直線距離）

事項	数値	算出根拠等
S：店舗面積	11,000 千㎡	千㎡未満も小数点以下で表示
地区の区分	商業地区	用途地域：近隣商業地域 ※用途地域が複数にまたがる場合

		等は周辺の状況で判断しますので、事前に相談して下さい。
A : 店舗面積当たり 日来店客数原単位	950	人口40万人未満 店舗面積 $\geq 5 \text{ km}^2$
B : ピーク率	14.4%	指針の数値
L : 駅・バスターミナル等 からの距離	300m	駅・バスターミナル等名 :
C : 自動車分担率	60%	人口10万人以上40万人未満 $L \geq 300\text{m}$
D : 平均乗車人員 (小数点第3位四捨五入)	2.05人/台	$1.5 + 0.05 \times 11.000 = 1.5 + 0.55 = 2.05$
E : 平均駐車時間係数 (小数点第3位四捨五入)	1.45	$(65 + 2 \times 11.000) \div 60 = 87 \div 60 = 1.45$
S' : 併設施設の面積		
① オフィス、マンション等の面積の合計	0 $\text{km}^2$	
② 飲食店、ゲームセンター等の面積の合計	1.500 $\text{km}^2$	$S' < S \times 0.2$
③ 小売店舗以上の集客力を有する施設の面積の合計	0 $\text{km}^2$	

※「L : 駅からの距離」については、モノレール駅、国際通りのバス停、バスターミナル等からの距離を記載して下さい。

○小売店舗へのピーク1時間当たりの自動車来台数(441台)

$$A \times S \times B \times C \div D = 950 \times 11.000 \times 14.4\% \times 60\% \div 2.05 = 440.42 \dots \text{台} \rightarrow 441 \text{台 (端数切り上げ)}$$

○必要駐車場台数(640台)

$$441 \times E (1.45) = 639.45 \text{台 (端数が出た場合小数点以下切り上げ)}$$

**当該大規模小売店舗駐車場設置台数 ○○○台  $\geq$  必要駐車場台数 640台**

※敷地内の駐車場設置台数

小売店舗に係る駐車場設置台数	台
小売店舗以外の施設(併設施設)に係る駐車場設置台数	台
従業員の通勤用の車及び業務用の車等	台
敷地内の駐車場設置台数	台

(その他記載する事項)

駐車場の分散確保の有無及びその理由(分散確保する場合)

※敷地外の駐車場設置台数

小売店舗に係る駐車場設置台数	台
----------------	---

小売店舗以外の施設（併設施設）に係る駐車場設置台数	台
従業員の通勤用の車及び業務用の車等	台
敷地外の駐車場設置台数	台

#### 《指針の計算式によらない場合》

指針の計算式による必要駐車場台数を示した上で、**①特別な事情の説明**、**②必要駐車場台数**、**③算出根拠等**を記載して下さい。

#### (2) 駐輪場について

駐輪場の収容台数について記載し、備考欄には、原動機付自転車に換算した場合の収容台数を記載して下さい。

(例)

符号	駐輪場の収容台数(台)	備 考
1	〇〇台	原動機付自転車 約〇〇台等

#### 5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

方向別台数の予測、駐車場出入口の形式及び位置の設定状況には、添付書類6で求められる駐車場への案内経路の設定状況も併せて記載するようにして下さい。

以下に示す記載例では、①周辺見取図、②各案内経路別来台数割合の予測結果及び算出根拠、③交通量調査結果、④交差点交通量の予測結果、⑤出入口の形式に分けて記載する方法を示します。

##### ①周辺見取図の作成

周辺見取図（敷地から概ね半径1kmの範囲又は事前相談において交通量を調査することと判断された範囲）を作成し、以下の状況が把握できるようにして下さい。（複数図面に記載可）

ア 来客の自動車の案内経路及び帰路（添付書類6に関連）

図面上に経路を矢印等で表示して下さい。

イ 店舗周辺の道路の種類（国道、県道、市道等）、幅員、車線数、信号機、交通規制、歩道及び横断歩道の状況等

店舗周辺及び駐車場の出入口が接する道路の状況等について表示して下さい。

ウ 経路案内板、駐車場の空き状況を示す表示板等を設置する場合、その設置場所（添付書類6に関連）

表示内容等については、添付書類6に記載して下さい。

エ 交通整理員を配置する場合、その配置場所（添付書類6に関連）

配置人数及び配置時間については、添付書類6に記載して下さい。

オ 交通量調査を行った交差点等の位置及び状況等

交通量の調査を行った交差点及びその状況等（車線数等）について表示して下さい。

カ 学校等の位置及び通学路

周辺見取図として作成した範囲内に学校がある場合、その位置とスクールゾーン（設定されている場合）の位置及びその時間帯を記載して下さい。

キ 周辺のバス路線及びバス停留所の位置

周辺見取図として作成した範囲内のバス路線及び最寄りのバス停留所等について、その位置等を記載して下さい。

ク 周辺の大規模小売店舗及び大規模な集客施設等の位置

ケ その他（上記以外に必要と思われるものについても適宜表示して下さい。）

（例）駐車場出入口周辺で、路上駐車が目立つところがあればその位置

②各案内経路別来台数割合の予測結果及び算出根拠

来店経路の設定状況を勘案しながら予測した各方面別（概ね4方向）の割合の結果及び算出根拠を記載し、予測に使用した資料等を適宜添付して下さい。

また、算出した割合と添付資料4で算出した「当該小売店舗へのピーク1時間当たりの自動車来台数」から、各駐車場の入口ごとの、ピーク1時間当たりの来台数の予測結果について記載して下さい。

③交通量調査結果について

来客の自動車の経路上の交差点（敷地周辺から最寄りの交差点又は事前相談において交通量調査を行うこととされた交差点）における交通量を時間帯（営業時間に前後1時間を加えた時間帯又は事前相談において調査することとされた時間帯）別及び調査地点別に、平日及び休日の調査結果を作成して下さい。

（例）

地点	1（周辺見取図上の符号）			測定地点概略図		
調査日	○年○月○日（○曜日）					
天候	晴れ					
摘要	交差点の右左折帯の有無やその長さ、交通量のピーク及び信号待ち行列の状況等					
時間帯\方向	1	2		1 1	1 2	合計
8時台						
9時台						
20時台						
21時台						
合計						

④交差点交通量の予測結果について

交通量調査で得られた結果に、方向別来台数の予測結果を勘案し、出店後の増加交通量の予測を交差点別に作成して下さい。

（例）来店ルートとされた各交差点のピーク時の交通量

現状交通量	台/時
-------	-----

出店後の増加交通量	(併設施設の交通量も加算)	台/時
合計交通量		台/時
来店総数に対する割合		%

(例) 来店ルートとされた各交差点の飽和度

交差点符号	
現状	
出店後	

⑤ 出入口の形式について

(自走式平面駐車場で発券ブース等のない駐車場は、記載の必要なし)

ア 駐車場の入庫処理能力

(例) (出入口が複数ある場合は、各々について符号で区別し記載して下さい)

符号	1時間当たり 入庫処理能力(台)	ピーク1時間に予想される 来客の自動車台数(台)
	算出根拠:	
	算出根拠:	

※入庫処理能力については、メーカーより提供される1台当たりの処理時間に乗客の乗降時間等を加えたものとする。(参考値:「指針二1.(1)②イ」参照)  
併設施設があり、その施設の利用者の自動車台数が相当数見込まれる場合であって、出入口が共用されるときは、その自動車台数も考慮する。

イ 敷地内駐車待ちスペース

(例) (出入口が複数ある場合は、各々について符号で区別し記載して下さい)

符号	駐車待ち スペース の有無	駐車待ち スペース (m)	発券ブー ス等の有 無	必要駐車 待ちスペ ース(m)	駐車待ちスペース「無し」 の場合の理由と対策
	有・無		有・無		
	算出根拠:				
	有・無		有・無		
	算出根拠:				

(指針の計算式)

「各入口に必要な駐車待ちスペース」 = (当該入口の1分当たりの来台数 × 1.6  
- 当該入口の1分当たり入庫処理可能台  
数) × 6 (m: 平均車頭間隔)

※指針に示す計算式以外で駐車待ちスペースを設定する場合には、計算式及びその算出根拠の説明等を記載して下さい。

## 6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

来店経路の案内表示の方法、表示場所、交通整理員に係る事項（配置場所ごとの人数、配置する時間帯等）を記載した書類を作成して下さい。

※方面別の案内経路及び案内表示や交通整理員を配置する場合は、添付書類5の「周辺見取図」に記載して下さい。

## 7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

時間帯別の搬出入車両の台数をその大きさごとに分けて記載し、各々の平均的な荷さばき処理時間を記載して下さい。

（例）（荷さばき施設が複数ある場合は、施設ごとに符号で区別し作成して下さい）

荷さばき施設No.				
時間帯	車両の大きさ	車両台数(台)		平均的な処理時間(分)
8:00 ～ 9:00	○ t 未満 ○ t 以上 ○ t 未満 ○ t 以上	○○台 ○○台 ○○台	計○○台	○○分 ○○分 ○○分

## 8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁を設置する場合は、その位置及び高さ等について記載して下さい。

（例）

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
	m	m		

※遮音壁の位置は、添付書類9の「施設配置図《騒音用》」の図面上に記載して下さい。

## 9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼動時間帯及び位置を示す図面

冷却塔、室外機、送風機等の設備を設置する場合は、それらの稼動時間帯及び位置等について記載して下さい。

（例）

No	項目	稼動時間帯	位置

※冷却塔、室外機、送風機等の騒音源の設置場所は、施設配置図《騒音用》に符

号をつけて表示して下さい。

ア 施設配置図《騒音用》

- ・冷却塔、冷暖房設備の室外機、送風機の位置
- ・荷さばき施設、駐車場等の騒音発生源の位置
- ・遮音壁を設置する場合は、その位置（添付書類8に関連）
- ・等価騒音レベルの予測地点
- ・騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測地点

イ 施設配置図《廃棄物等に関する施設用》

- ・廃棄物等の保管施設の位置（屋外に設置する場合）
- ・廃棄物等の処理施設の位置（設置する場合）

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

予測対象とした騒音源とそれぞれのパワーレベル、昼間と夜間の等価騒音レベルを記載し、添付資料9の「施設配置図《騒音用》」に予測地点を表示して下さい。

また、指針に示された予測式等に基づく計算過程は別途添付して下さい。

(例)○騒音の総合的な予測・評価結果（予測地点：建物の周囲からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい地点、又は立地可能な住居等の屋外）

地点	地域の類型 (用途地域)	環境基準値 (dB)		予測値 (dB)			評価
				一般住居等		高層住宅等 (注)	
				遮音壁無	遮音壁有		
		昼間					
		夜間					
		昼間					
		夜間					
		昼間					
		夜間					

(注) 高層住宅等が隣接している場合等で、遮音壁を設置してもその効果の及ばない高層住宅における騒音についての予測値

○騒音発生源の騒音レベル

騒音源		騒音のパワーレベル	騒音のピーク値 (最大値)	稼働時間
定常騒音				
変動騒音				
衝				

撃 騒 音			
-------------	--	--	--

11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあつては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

夜間（騒音規制法において予測地点に適用される「夜間」）において発生することが見込まれる騒音について予測結果を記載し、計算過程は別途添付して下さい。

※騒音規制法における「夜間」（本手引6頁参照）に小売業を行う場合のみ作成して下さい。

(例)発生する騒音ごとの予測・評価結果(予測地点：大規模小売店舗の敷地境界線で、隣接する住居等への影響を考慮した高さにおける騒音レベルの予測を行う。)

騒音発生源	地域の 類型	夜間の規制基準値 (dB)	予 測 値 (dB)		評 価
			遮音壁無	遮音壁有	
定 常 騒 音	冷却塔				
	室外機				
	給排気口				
	その他				
変 動 騒 音	自動車走行等				
	荷さばき作業のための車両のアイドリング				
	荷さばき作業のための車両の後進警報ブザー等				
	廃棄物収集作業等				
	BGM、アナウンス等				
	その他				
衝 撃 騒 音	荷下ろし音				
	台車走行音等				
	その他				

※夜間において併設施設から著しい騒音が発生することが見込まれる場合には、当該騒音も予測・評価の対象として対応策を講じることが期待されている。

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

(例)

○廃棄物等の排出予測量

--	--	--	--

廃棄物の種類	S:店舗面積 (千㎡)	指針 原単位	A: 1日当たりの 廃棄物等の排 出予測量 (t)	B: 平均保管 日数 (日)	C: 見かけ比 重 (t/㎡)	D: 排出予測 量 A×B÷C (㎡)
紙製 廃棄物等	6千㎡以下	0.208				
	6千㎡超	0.011				
	計					
金属製廃 棄物等	6千㎡以下	0.007				
	6千㎡超	0.003				
	計					
ガラス製 廃棄物等	6千㎡以下	0.006				
	6千㎡超	0.002				
	計					
プラスチ ック製廃 棄物等	6千㎡以下	0.020				
	6千㎡超	0.003				
	計					
生ごみ等	6千㎡以下	0.169				
	6千㎡超	0.020				
	計					
その他の可 燃性廃 棄物等		0.054				
	計					
合 計						

○併設施設から排出される廃棄物等を含めた排出予測量

廃棄物の種類	D 小売業からの 廃棄物等排出 予測量 (㎡)	※E 併設施設からの 廃棄物等排出予 測量 (㎡)	F 大規模小売店舗全 体の廃棄物等排出 予測量 (D+E) (㎡)	G 大規模小売店舗 に設置される廃 棄物等保管施設 容量 (㎡)
紙製廃棄物等				—
金属製廃棄物 等				—
プラスチック 製廃棄物等				—
ガラス製廃棄 物等				—
生ごみ等				—
その他の可燃 性廃棄物等				—

合 計				
-----	--	--	--	--

※併設施設の廃棄物等の保管施設が、大規模小売店舗と共用される場合には、Eについても予測し、その算出根拠等を別途記載し、参考資料として下さい。

また、指針の計算式及び原単位以外の方法で算出する場合には、指針の計算式で算出した保管容量を示した上で、合理的な理由を付して計算値を修正して下さい。

○上記分類以外の廃棄物等（廃家電や粗大ごみなど）の排出が見込まれる場合には、その排出予測量を別途記載し、参考資料として下さい。

#### 4 その他指針で規定する配慮すべき事項について

次に掲げる事項は、指針に配慮すべき事項として規定される事項のうち、届出書又は添付書類には直接記載される事項ではありませんが、立地法第8条第4項に基づく「意見」の対象となりますので別途記載した書類を添付して下さい。

##### (1) 店舗内の小売業者（テナント）の協力体制（本手引3頁、指針一4.参照）

テナントの協力を確実に担保するための必要な措置について記載して下さい。

なお、立地法の意見・勧告の対象となるものではありませんが、併設施設を有する場合、併設施設の事業者の協力を得るための必要な措置についても記載して下さい。

※関連する添付書類・・・「添付書類2」

##### (2) 歩行者の通行の利便の確保等について（本手引4頁、指針二1.(2)参照）

歩行者の通行の利便のために行う対応策等について記載して下さい。

※関連する添付書類・・・「添付書類6」

##### (3) 廃棄物減量化及びリサイクルについての配慮（本手引4頁、指針二1.(3)参照）

廃棄物の減量化及びリサイクル活動の推進計画について、近隣住民への情報公開の計画について記載して下さい。

※関連する添付書類・・・「添付書類12」

##### (4) 防災・防犯対策への協力について（本手引4頁、指針二1.(4)参照）

防災協定締結要請がある場合や締結済み又は締結を予定している場合は、その内容等について記載して下さい。

また、防犯に関して配慮している内容等について記載して下さい。

なお、立地法の意見・勧告の対象となるものではありませんが、併設施設を有する場合、併設施設の事業者の協力を得て行う配慮についても記載して下さい。

##### (5) 騒音問題への対応策について（本手引4頁、指針二2.(1)①参照）

騒音の発生を防止又は緩和させるために行う対応策について記載して下さい。

※関連する添付書類・・・「添付書類10及び11」

##### (6) 廃棄物等の運搬や処理及び廃棄物等に関する対応方策について（本手引7頁、指針二2.(2)②及び③参照）

廃棄物の処理計画について記載して下さい。

①運搬予定業者

②敷地内での処理計画の有無

③悪臭対策

④食品加工場等を付設する場合の悪臭を伴う汚水処理について

※関連する添付書類・・・「添付書類12」

**(7) 街並みづくり等への配慮等**（本手引 8 頁、指針 2. (3) 参照）

街並みづくり等の公的な計画の確認状況、夜間の屋外照明等について記載して下さい。

また、適宜建物の完成予想図（建物の景観、広告塔の位置、広告塔照明、屋外照明の位置等について表示）等を添付して下さい。

**5 参考資料について**

参考資料は、届出書及び添付書類を補足するための資料でありますので、以下の該当する項目について、記載して下さい。

**(1) 併設施設を含めた必要駐車台数について**（本手引 3 頁、指針 2. (1) ①参照）

併設施設の利用者のための駐車場が小売店舗への来客用の駐車場と共用されるように設置される場合、指針に示す考え方を参考に、併設施設を含めた必要駐車台数及びその考え方を記載して下さい。

※関連する添付書類・・・「添付書類 4」

**(2) 駐輪場の収容台数の算出根拠について**（本手引 3 頁、指針 2. (1) ③参照）

駐輪場の収容台数の算出根拠を記載して下さい。

※関連する添付書類・・・「添付書類 4」

**(3) 自動二輪車の駐車場の確保について**（本手引 4 頁、指針 2. (1) ④参照）

自動二輪車の駐車場の設置の有無について記載し、収容台数の算出根拠を記載して下さい。

**(4) 6 分類以外の廃棄物等の保管施設の容量について**（本手引 6 頁、指針 2. (2) ①参照）

添付書類12に示す 6 分類以外の廃棄物等の排出が見込まれる場合には、その保管施設の容量の算出根拠を記載して下さい。

**6 届出に添付する図面等について**

本手引書及び運用要綱等で添付する図面等は次のとおりです。それぞれの図面には縮尺表示及び方角の表示を行って下さい。

**(1) 事前相談における図面**

ア 広域見取図（運用要綱 vii 頁）

当該大規模小売店舗の敷地から概ね 2 ～ 3 km 圏内の道路状況、並びに学校・病院・消防署等公共的施設の状況を表示して下さい。

イ 用途地域指定図（運用要綱 vii 頁）

当該大規模小売店舗の敷地及び周辺の、都市計画法上の用途地域の指定状況を表示して下さい。

(2) 届出書に添付する図面

ア 建物の位置図《広域見取図》

当該大規模小売店舗の敷地から概ね半径2～3km圏内の学校や社会福祉施設、大規模小売店舗等の位置を表示して下さい。

イ 建物の配置図《敷地内の配置図》

敷地内の建物及び附属する施設（駐車場、駐輪場、荷さばき施設（搬出入車両の待機場所等を含む）、廃棄物等の保管施設）の配置状況及び来退店車両と搬出入車両の出入口に関する位置及び同出入口に面する道路状況（区画線等）を表示して下さい。

ウ 都市計画法上の用途地域指定図

敷地内及び周辺の用途地域の指定状況等を表示して下さい。

エ 建物の平面図

建物において小売業及び小売業以外の用に供される面積や配置の状況、その他屋内に設置される荷さばき施設等を表示して下さい。

オ 周辺見取図

当該大規模小売店舗の敷地から概ね1km圏内の道路状況がわかるもので、主に周辺の交通に関する状況を表示して下さい。

カ 施設配置図《騒音用》

遮音壁の位置、騒音源や騒音の予測地点の位置並びに荷さばき施設の位置や面積、搬出入車両の出入口等について表示して下さい。

キ 施設配置図《廃棄物等に関する施設用》

廃棄物等の保管施設、処理施設の位置等について表示して下さい。

ク 建物完成予想図等

建物の景観、広告塔の位置、広告塔照明、屋外照明の位置等について表示して下さい。（複数図面可）